

# みなかみ読者ニュース

発行所 日本共産党みなかみ町委員会 みなかみ町相俣58  
代表 林 誠行・連絡先 党利根沼田地区事務所 TEL23-1519

◆穂苅清一議員・原沢良輝議員の活動をお知らせします。ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

穂苅清一議員の一般質問は

## 2009年問題

### 「派遣切り」首切り攻撃にストップを

**町長答弁** 労働行政は、国と県が行い  
町は労働者の実態を把握せず

穂苅清一議員は、町内の派遣切りの実態と対応について、3月9日に一般質問しました。この2009年問題といわれる労働者派遣法（略称）の1999年大改悪は、製造業にまで3か月～3年という短期、不安定な雇用制度をつくり、全国に広がりました。

この3月には、40万人を超える労働者（政府発表では当初15万8千人と過少評価、その後19万2千人、3/31と発表）が、派遣切り、期間工、パート、嘱託などの非正規社員切りに直面しています。

町内では、新治地区の工業団地や、一部のホテル業、サービス業でも働く人々をいつでも首切りできるという不安定な雇用契約の実態が表面化しています。

穂苅議員は、労働法の憲法である「労働基準法」「労働契約法」を遵守し、派遣切りや解雇で寮を追い出されて、職を失った人々への援助の必要性を強張り、町の予算でも「労働費」を充実させることを要求しました。

鈴木町長は、派遣切りの実態等は把握していないことを認めましたが、国の「ふるさと雇用再生特別基金」などの事業を展開し、非正規労働者に、つなぎ就業機会を提供したいと答弁しました。しかし、町単独の事業は考えていないと、消極的な姿勢でした。法律の改正も含め、国や自治体が真剣に取り組むべき「2009年問題」といえます。

## ぐんま派遣村に470人 —前橋公園で3月26日開村—

「いのち・くらし・雇用なんでも相談会」として1日限りの「ぐんま派遣村」が前橋公園を中心に開村しました。この企画は、牧師、弁護士、医師など5人のよびかけにより、実行委員会を結成し準備されました。呼びかけ人のひとりには、特定社労士・行政書士の資格がある穂苅町議も加わり、派遣労働、生活困窮者などの相談を受けました。当日は、100人をこえる深刻な相談を、大勢の専門家が解決への適切なアドバイスを行いました。炊き出し、散髪、健康診断もあり、6日間もかけて埼玉から前橋まで歩いてきた人、ホームレスで河川、公園で野宿している人など、当日は23人が専門家とともに生活保護申請をし、即時受理されました。前橋市役所では、生活保護相談受付の特別室を用意してくれました。今後は、県内各地で「派遣村」活動が期待されます。

## 3月定例議会一般質問



原沢良輝議員の一般質問は

### 環境配慮の町づくり

環境に優しい社会づくりのため、CO2削減が重要です。原沢良輝議員は①奥利根アメニティーパークで使用する灯油の約7割がごみ処理中に発生する悪臭除去のためで、新しく開発された消臭剤はこの悪臭を完全に無臭化することが出来、CO2発生を抑え、灯油代減少になること。②上毛高原駅前の駐車場は満車状態で、駅北側と西側の町の駐車場の周知と整備で、新幹線利用を促進してはどうか。③学校の屋根などの利用で、太陽光や風力発電などをしてはどうか。と質問しました。

町長は、「アメニティーパークで消臭剤など実験中であり、良い結果が出れば地元で説明し、万全な対策をとりたい。上毛高原駅駐車場の整備は、新幹線利用、定住、少子化対策にも貢献するので、官民一体で取り組みたい。太陽光発電などは低炭素推進協議会に参加し、新エネルギー対策を検討する。」と回答しました。

### 医療制度の見直し

国民健康保険制度が保険料の減収と国交付金の減少に加えて、医療機関への支払が増額し保険料値上げなしでは破綻状態です。財政悪化ほどの自治体も同じなので、後期高齢者医療制度の廃止を含め、保険制度を見直す意見書を国に出してはどうか。との質問に町長は「保険財政悪化は市町村の自助努力では解決できず、後期高齢者医療制度、国民健康保険を一元化する必要がある」ことを認めながら、「後期高齢者医療制度は悪くない」と強弁しました。

ほかり議員(72-2354)・原沢議員(62-3343)の顧問  
弁護士がご相談に応じます。

賃金未払・派遣切り・非正規雇用など

**無料**生活法律相談のご案内

**4月8日(水)・22日(水)午後1時より**

場所 日本共産党地区事務所 TEL 23-1519